

新しい「地域おこし協力隊」が着任しました！



本年10月から、「白石市地域おこし協力隊」に新たに5人が加わりました。観光分野に1人、関係人口拡大分野に4人の隊員が従事します。

これまで培ってきた経験やスキルを生かし、新しい視点と発想力で、白石のさらなる魅力向上と情報発信に取り組んでいただきます。

観光分野担当

まつい みずき
松井 瑞輝 さん

白石城での甲冑試着体験やイベントの企画運営、SNSなどを活用した情報発信を担当します。アメリカの大学に通い身に着けた英語を活用して、外国の方にも楽しんでもらえる、白石ならではのコンテンツを提供していきます。多くの方に「関係人口」になってもらい、また地元の皆さんが誇りに思える白石にしていきたいです。



関係人口拡大分野担当

はね つよし
羽根 剛 さん



東京方面の方のワーケーション先に白石が選ばれるように、WEBサイトやPR拠点の整備に取り組みます。まずは白石のことを知ってもらい、白石の魅力を感じてもらいたいですね。ゆくゆくは口コミで評判が広がるのが目標の一つです。

たかはし はるか
高橋 啓花 さん



自然や歴史があり、都会からのアクセスも良い白石の魅力を発信して、関係人口や定住者を増やしたいです。廃校や空き家を活用して、ワーケーションの方を受け入れる拠点整備も取り組みたいと考えています。

いぐち ゆうた
井口 裕太 さん



空き家スペースを活用した体験事業を考えています。実際に白石での暮らしを体験してもらい、関係人口の増加につながればと思います。まずは自分自身が白石のことをよく知るため、これから各イベントに顔を出していきたいです。

なかむら まちこ
中村真知子 さん



田舎と都会をつなげるイベントや体験事業を企画して、都会からの誘客に取り組んでいきます。外部から来た私たちだからこそ分かる、白石の自然や歴史を付加価値にして、訪れる方にPRしていきたいです。



白石市観光大使に プロレスラー「遠藤哲哉選手」が就任

10月29日、本市の新たな観光大使の委嘱状交付式を市役所で行い、本市出身で東京を中心に活動するDDTプロレスリング所属のプロレスラー「遠藤哲哉選手」が就任しました。

遠藤選手が所属する団体は、国内でも有数の規模と人気を誇り、現チャンピオンである遠藤選手は、新体操仕込みの華麗な飛び技を駆使したファイトスタイルで、多くの観客を魅了しています。DDTプロレスリングは、昨年12月には令和元年東日本台風の被災地を元気づけるため、ホワイトキューブで凱旋試合を開催し、収益の一部を本市に寄付いただきました。

委嘱状交付式で、市章をデザインしたガウンを着た遠藤選手は「生まれ育った白石市の魅力を、プロレスを通して多くの人に伝えていきたいのでよろしくお願ひします」と話していました。

任期は本年11月1日からの3年間となります。

プロレスラー／DDTプロレスリング所属

遠藤 哲哉 えんどう てつや

1991年白石市生まれ。白石一小・東中・名取高校卒。学生時代はソフトテニス部と新体操部に所属。2012年にプロレスラーとしてデビュー、2019年に所属団体最高峰である「KO-D無差別級王座」を初めて獲得し、4度防衛。本年6月には2度目の王座に輝いた。身長180cm、体重85kg

